

## 尾張徳川家の金銀調度

平成22年 11月10日(水)～12月12日(日)

金や銀を用いた工芸品は、近世初期に鉱山開発が進み、金銀の産出が増加したことで多数製作されました。しかし、これら工芸品の多くは、貴金属としての高い価値から時代を経るうちに铸つぶされて、消費されてしまい、ほとんどが残されていません。

尾張徳川家二代光友夫人の千代姫は、日本一豪華な婚礼調度「初音の調度」(国宝)を携えてわずか二歳半で嫁入りしました。他にも多量の金銀調度類を持参し、その一部が現存しています。本展では近世大名文化の至宝の一つである千代姫持参の金銀調度を全点公開します。加えて近代に至る、飲食器やさまざまな金銀工芸品を紹介します。

No.	名	称	時代	世紀	所蔵者
-----	---	---	----	----	-----

## プロローグ

- |   |       |     |               |      |    |
|---|-------|-----|---------------|------|----|
| 1 | 純金造   | 帝堯像 | 徳川義直(尾張家初代)所用 | 江戸   | 17 |
| 2 | 真珠付純金 | 団扇  | 伝豊臣秀吉所用       | 朝鮮王朝 | 16 |
| 3 | 慶長笹書  | 大判金 | 二枚            | 江戸   | 17 |

## 千代姫の金銀調度

江戸 寛永16年&lt;1639&gt;

- |     |             |      |                     |  |  |
|-----|-------------|------|---------------------|--|--|
| 4◎  | 純金葵紋散蜀江文    | 硯箱   | 霊仙院千代姫(尾張家2代光友夫人)所用 |  |  |
| 5◎  | 純金花鳥図香盆飾り   |      | 同上所用                |  |  |
|     | 純金花鳥図香盆     |      |                     |  |  |
|     | 純金葵紋唐草文阿古陀形 | たき空入 |                     |  |  |
|     | 純金葵紋唐草文瓜形   | たき空入 |                     |  |  |
|     | 純金葵紋薫物壺     |      |                     |  |  |
|     | 純金葵紋唐草文阿古陀形 | 香炉   |                     |  |  |
| 6◎  | 純金葵紋山水図香盆飾り |      | 同上所用                |  |  |
|     | 純金葵紋山水図香盆   |      |                     |  |  |
|     | 純金葵紋唐草透六角形  | 香すじ建 |                     |  |  |
|     | 純金葵紋蜀江文三足   | 香炉   |                     |  |  |
|     | 純金葵紋蜀江文三重   | 香合   |                     |  |  |
| 7◎  | 銀檜垣に梅図香盆飾り  |      |                     |  |  |
| 8◎  | 純金葵紋蜀江文     | 沈箱   | 同上所用                |  |  |
| 9◎  | 純金台子皆具      |      | 同上所用                |  |  |
|     | 純金葵紋蜀江文切合せ  | 風炉   |                     |  |  |
|     | 純金霰丸形切合     | 釜    |                     |  |  |
|     | 純金葵紋蜀江文水指   |      |                     |  |  |
|     | 純金葵紋蜀江文下蕪形  | 杓立   |                     |  |  |
|     | 純金葵紋牡丹唐草文   | 建水   |                     |  |  |
|     | 純金唐草文三足形    | 蓋置   |                     |  |  |
| 10◎ | 純金葵紋天目      |      | 同上所用                |  |  |
| 11◎ | 純金葵紋蜀江文     | 天目台  | 同上所用                |  |  |

No.	名	称	時代	世紀	所蔵者
12◎	純金肩衝茶入		靈仙院千代姫(尾張家2代光友夫人)所用		
13◎	純金葵紋蜀江文棗		同上所用		
14◎	純金葵紋蜀江文薬鍋		同上所用		
15◎	純金葵紋蜀江文薬茶碗		同上所用		
16◎	純金葵紋牡丹唐草文盃		同上所用		
17◎	純金葵紋蜀江文皿		同上所用		
18◎	純金薬茶碗		江戸	17	
19	金銀御道具帳		江戸	18-19	
20	金城温古録 第十之冊		御天守編之二	御天守部	66冊の内 江戸 万延元年<1860> 名古屋市蓬左文庫

## 調度

21◎	銀葵紋唐草文手拭掛		江戸	17	
22	純金葵紋散蜀江文手箱		江戸	17	個人蔵
23	純金天目		江戸	17	個人蔵★
24	銀葵紋野風炉		江戸	弘化元年 <1844>	
25	銀葵紋唐草文皿		江戸	17-18	
26	銀花籠形香炉		江戸	18-19	
27	銀雁形大香炉		江戸	18-19	
28	銀橘打枝床飾香炉		江戸	18-19	
29	銀唐草文薬煎道具	薬鍋・水次・銚釐・薬茶碗・薬入	江戸	18-19	
30	銀葵紋角形水指 (鷹野手洗)		江戸	19	
31	銀葵紋七宝文丁子釜・風炉		江戸	19	
32	銀唐草文皿		江戸	19	
33	銀浪亀文丁子風炉		江戸	19	

## 文房具

34	金銀亀形鋏	松平勇子 (越前松平家14代慶永夫人) 遺品	江戸	19	
35	銀鷺・沢瀉文水滴	同遺品	江戸	19	
36	銀八角牡丹文水滴		江戸-明治	19	
37	銀文鎮	鼓・菊に蝶・富士山・月に郭公	四点	江戸-明治	19
38	銀十二支文鎮		十二点	江戸-明治	19
39	銀菊折枝形文鎮		江戸	19	
40	銀橘折枝形文鎮		江戸	19	
41	銀冠形文鎮		江戸	19	
42	銀蓑亀形文鎮		江戸	19	
43	銀紙挟	菊・牡丹に蝶・龍・藤に蝶	四挺	明治	19-20

## 酒器・酒盃

44	銀葵紋菊水文銚釐	附 菊水蒔絵袴	江戸	19	
45	銀葵紋松竹梅鶴亀唐草文長柄銚子・提子		江戸	19	
46	銀葵紋花菱文銚子		江戸	19	
47	銀葵紋唐草文銚子		江戸	19	

No.	名 称	時代	世紀	所蔵者
48	銀葵紋鉄線唐草文銚子	江戸	19	
49	銀牡丹唐草文銚子 附 牡丹唐草蒔絵蓋 三提の内	江戸	19	
50	金菊紋盃 三ツ組	明治	明治7年<1874>	
51	銀菊紋盃 三ツ組	明治	明治17年<1884>	

## 飲食器

52	銀葵紋紗綾形鉢・盃	江戸	17-18	個人蔵
53	銀葵紋薬罐 附 菊蒔絵挽家	江戸	18-19	
54	銀葵紋唐草文薬罐	江戸	19	
55	銀葵紋牡丹文湯子取	江戸	18-19	
56	銀葵紋切立 附 湯子取	江戸	18-19	
57	銀唐草文切立	江戸	19	
58	銀葵紋抱牡丹紋汁次	江戸	19	
59	銀葵紋水次	江戸-明治	19	
60	銀葵紋柄葵紋蒔絵杓子 三本の内	江戸-明治	19	

## 近代の銀器

61	銀岩鶴亀形ボンボニエール 一品当朝図	明治	明治27年<1894>	
62	銀菊紋ボンボニエール	明治	明治33年<1900>	
63	銀板張菊水文手文庫	昭和	昭和10年<1935>	
64	銀菊紋煙草箱	明治	明治43年<1910>	
65	銀菊紋煙草箱	昭和	昭和12年<1937>	
66	銀菊紋煙草箱	昭和	20	
67	銀菊紋花瓶 附 紫檀台 一對	大正	大正4年<1915>	
68	銀菊紋鶴首一輪生	大正	大正13年<1924>	
69	銀葵蝶文西洋食器 一具	大正-昭和	20	

以上

平成8年度、文化庁による重要文化財指定に際し、硯箱の水滴の金純度は、蛍光X線放射の分析（東京国立文化財研究所）の結果、「金95%・銀5%の23K相当」の合金と判明しました。当時の「純金」の範疇であり、展示に際して当館では「純金」と呼んでいます。また銀器については、指定品を含めて科学的な成分分析に至っていません。

- ・ 出品リストの番号は、展示順を示していません。
- ・ ◎は重要文化財を示します。
- ・ ★No.23 純金天目は11月23日(火)より展示します。
- ・ 作品の保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。
- ・ 所蔵者に表示のない作品はすべて、徳川美術館蔵です。

# 源氏物語の世界

平成22年 11月10日(水)～12月12日(日)

蓬左文庫所蔵の重要文化財「河内本源氏物語」、徳川美術館所蔵の国宝「源氏物語絵巻」、いずれも両館を代表する尾張徳川家伝来の名宝です。両館には、これにとどまらず写本や絵画作品の名品・優品はもちろん、「源氏物語」に題材をとった蒔絵調度、茶道具、香道具などのさまざまな品々が伝来しています。

尾張徳川家に限らず、「源氏物語」は大名道具を彩る代表的なテーマでした。その代表が『源氏物語』初音の帖にちなむ意匠をもつ国宝「初音の調度」です。徳川美術館での「国宝 初音の調度」展にあわせ、同家伝来の品々を中心に、大名道具が語る「『源氏物語』の世界」を紹介します。

No.	名 称	時代	世紀	所蔵者
1	源氏物語 五十四帖の内	江戸	17	個人蔵
2	絵入版本 源氏物語 山本春正編	慶安3年(1650)跋	六十冊の内	
		江戸	承応3年<1654>	
3	源氏物語画帖 詞書 徳川秀忠(2代将軍)筆 詞書五十四枚・絵五十四枚の内	江戸	17	
4◎	源氏物語(河内本) 二十三帖の内 附 桐宇治橋蒔絵書物箆笥	鎌倉	正嘉2年<1258>	※
5	源氏物語(青表紙本) 三条西家本 五十六冊の内 附 桐蒔絵重箱型本箱	室町	天文2年<1533>	※
6	源氏物語 青表紙本系 里村紹巴奥書 五十五冊の内 本寿院於福(尾張家3代綱誠側室)蔵書 附 桐木目蒔絵書物箆笥	桃山	天正8年<1580>	※
7	源氏物語 竹河(河内本系) 伝藤原為家筆	鎌倉	13	※
8	源氏物語 総角(青表紙本系)	鎌倉	13	※
9	源氏物語 浮舟(別本系) 伝藤原為家筆	鎌倉	13	※
10	原中最秘抄 明魏耕雲編・筆	室町	15	※
11	源氏物語蒔絵箔箱	江戸	17	
12	光氏温泉遊興ノ図 歌川豊国(3代)画	江戸	19	
13	修紫田舎源氏 柳亭種彦著・歌川国貞画 十九冊の内	江戸	天保13年<1842>	※

- ・出品リストの番号は、展示順を示していません。
- ・◎は重要文化財を示します。
- ・所蔵者に表示のない作品は徳川美術館蔵、※は名古屋市蓬左文庫蔵です。